

”原子力発電”現場における社会的合意形成

Making of Social Consensus in the Field of Nuclear Power Station

日本動力協会

梶本 晃章

Teruaki MASUMOTO Non-Member

Abstract

Every thing begins from the fields of nuclear power stations and ends there. The working people in the field are the key persons to get community's confidence against nuclear power generation. In order to make the social consensus between the local community and nuclear power station, staffs of power station should do efforts daily, in open way and provide easily understandable information continuously to the community. What should be informed? These are occurred events in the nuclear power station, efforts to operate the power station safely, occurred events in other power stations, and especially events possibly reported in tomorrow's news papers. Communication approach is also discussed in this presentation

Keywords: Nuclear Power Station, Field, Social Consensus, Community, Confidence, Information

1. “現場”そして“社会的合意”とは

(1) 現場

- ①全てが現場から始まり、現場に終わる
- ②管理・監督は現場のために
- ③あまりに多い“現場が現場らしくあることへの制約”

(2) 社会的合意

- ①社会的合意の基本：社会との信頼関係
- ②地域の人達との関係が決め手
 - i 発電所職員の日常的努力
 - ii 「隠し事をせず」、「オープンに」
- ③地域社会の皆さんは
 - i 国内や海外発電所などからの情報にさらされている
(一般社会は、多くの情報で溢れている。情報発信なければ、どんどん忘れ去られる：平時は問題なし)
 - ii 地域によっては、原子力推進容認する人たちに対抗するようにして、常に、問題を指摘、批判し、意見を発信し続けている人達もいる

2. 如何に社会的合意を繋ぎ続けるか：皆さんに問いたい

- (1) 我々は、地域の皆さんに情報を出し続けているか？
- (2) 情報は分かりやすいか

3. 発電所で働く人達に情報を発信しているか

- (1) 現場での情報発信対象の第一は、“発電所で働く地元の皆さん”
(仕事の流れは血の通った情報の流れとはならない)
- (2) 何を知らせるか：
 - ①発電所で起こったこと
 - ②発電所で取り組んでいること
 - ③他の発電所で起こったこと
 - ④特に、“明日の新聞に報道されるようなこと”
- (3) 情報発信の重要性
 - ◎平時に備える

4. 地域社会の信頼確保に向けて

- ◎ 徹底した分かりやすい情報発信を
- ◎ 地域の皆さんの目線で
- ◎ マイナス情報も包み隠さず

——自分たちの見解や意見も発信したい

連絡先: 梶本晃章, 〒108-0073 東京都港区三田
2-7-7 芳和三田綱坂ビル2階, 日本動力協会, 電話: 03-3451-1651, E-mail: masumototeruaki@live.jp

* 全ては、日本の社会を支えるエネルギー確保のために

